

9

No.557
SEP.2017

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協



CONTENTS

- 01 第1回政策委員会を開催
県政要望、創立70周年記念事業の進捗等について検討
- 02 委員会報告
経営教育／青年経営研究会／環境研究会
- 03 支部だより
水戸／土浦・石岡・つくば／取手・龍ヶ崎
- 05 新入会員紹介
- 08 「長時間労働につながる商慣行の是正に向けた共同宣言」へ賛同
- 09 いばらきの理解を深める9支部めぐり⑥＜葛田一雄＞
「水戸地区支部」
- 11 NPO情報Vol.203＜横田能洋＞
「避難所運営ゲームHUGをやってみませんか」
- 12 セミナー・事業等のご案内

県政要望、創立70周年記念事業の 進捗等について検討

7月28日(金)、第1回政策委員会(正副会長、各支部長、各委員長等協会主要役員)が、水戸市三の丸・水戸京成ホテルにて開催され、県政要望、創立70周年記念事業の進捗状況等について意見交換が行われた。

鬼澤邦夫会長(㈱常陽銀行取締役会長)が開会にあたり「関係の皆様のご尽力により今年度も順調に会員が増えている。会員の要望に応えられるよう、本日も忌憚のないご意見をいただきたい」との挨拶があった。

小濱裕正副会長(㈱カスミ取締役会長)が議長に就き、各事業分野についての報告・協議がなされた。

まず、会務報告で、収入・支出とも順調に推移している件の報告があった。次に会員増強活動について事務局より、42社の新入会員、15社の退会で27社増加し1,144社となり、今年度の目標会員数1,030社を前倒しで達成できたこと。今後は修正年度目標1,080社に向けて取組みたい。また、第8次中期運営要綱の基本理念「会員の声に耳を傾け、会員・地域から頼りにされる茨城経協へと進化する」の実現を目指し、会員訪問活動を積極的に展開する旨が報告された。

また、平成29年度県政要望について、事務局より、産業政策委員会や会員ニーズ調査部会での検討を経て作成された要望案の説明があり、原案どおり県に要望していく事で承認された。

次に、創立70周年記念事業の進捗状況について、事務局から、①企業人が選ぶいばらきの見学スポット(産業編)のPRパンフレット作成、②下期の開催を予定している“経協塾”と“朝礼見学会”、③平成30年度の開催を予定している“いばらき塾”の説明があり、原案どおり承認された。

その後、出席委員から、自社・業界・地域の状況などについて意見交換がなされた。



経営教育委員会

第7回第一種・第二種 衛生管理者受験対策のための対策講座を開催

経営教育委員会（委員長 植木誠氏（株）筑波銀行代表取締役会長）は8月2日（水）～3日（木）の2日間、例年実施している“第一種・第二種衛生管理者受験のための対策講座”を開催。第一種が42名、第二種が13名の計55名の受講があり、水戸プラザホテルを会場に行われた。

9月に茨城県内で行われる出張特別試験の日程にあわせ、この時期に開催している同講座

は、講師の（株）ウェルネット専任講師・柴田珠美氏のムダのないポイントを押さえた的確な解説が好評を得ている。柴田氏は「昨今の試験では、従来の問題にひねりを加えた問い方で出題される傾向があり、合格率も下がるなど難易度はあがっている」と話し、より効率的に学べるよう、都度改訂

される独自のテキストをもとに、受講者への講義が進められた。



青年経営研究会

7月例会を開催

青年経営研究会（会長 杉崎和彦氏 杉崎計器（株）代表取締役社長）は、7月31日（月）、7月例会としてひたちなか市の小松製作所（株）茨城工場の視察と、同社相談役の坂根正弘氏より「デフレ脱却と地方創生 ～コマツは日本の縮図～」と題して講演を頂いた。52名の参加。

同例会は、青年経営研究会研修・外交委員会の委員長を務

める中尾隆友氏（アセットベストパートナーズ（株）代表取締役）の企画により実現されたもの。

当日は杉崎青年経営研究会会長、青年経営研究会直前会長の磯崎寛也氏（茨城電機工業（株）取締役副社長）はじめ、多くの青年経営研究会メンバーが参加した。

初めに講演頂いた坂根氏は「社長就任時、企業価値向上を目指して取組んだことは事業の“選択”と“集中”。限られた資源を有効に活用し、顧客の価値を創造しながら、最大限の収益を継続的に生み出していくことであった。従来の経

営スタイルからは変革が必要となり、一度だけリストラを行い痛みも伴った。また世界でトップになれそうもない事業からの撤退も決断した。以降“環境・安全・ICTでダントツを目指す”を掲げ、まい進してきた」と語られ、また経営者に求められるトップマネジメントとは、少子高齢化・人口減少など日本が抱える課題を企業がどう捉え挑戦すべきかなど、若手経営者へのエールも含め、坂根氏から熱い講演を頂いた。

講演後、同社・執行役員茨城工場長の鈴木康夫氏より茨城工場概要の説明を頂いた後、工場内の見学会も併設されるなど、大変貴重で有意義な例会となった。



環境研究会(代表幹事 鈴木良治氏 (株)日立製作所日立事業所電力環境管理センタ主任技師)は8月8日(水)当協会会議室において環境研究会総会を開催し、29年度事業活動計画(案)および役員(案)選出などについて協議した。

本年度の事業活動計画では、環境先進企業見学会・メンバー間の情報交換・環境関連セミナーなどを開催していくことを確認した。

総会終了後には、情報交換会を開催し「省エネ対策事例」などのテーマを設け、各社が新に取組みはじめたCO2削減事例や啓蒙活動などについて情報を共有した。

情報交換会終了後には、研究会メンバー間の懇親会が開催され、日頃環境活動を推進するうえでの悩み事や課題などをメンバー同士で意見交換し、懇親を深め散会した。

◆メンバー募集のご案内

環境研究会(通称・環境研)は、環境問題に対する企業の対応策をお互いに研究していこうと、平成4年7月に設置された自主的な勉強会です。現在、18事業所の環境部門の担当

者が参加し、環境行政担当者との懇談会、環境教育・省エネ対策・産業廃棄物処理問題など日常の悩みや課題に関する情報交換、環境先進企業の見学などを行っております。事業活動の内容など、興味のある方は下記までお問合せください。

Tel : 029-221-5301

E-mail : usui@ikk.or.jp



支部だより

SEPTEMBER.2017

Branch office report

水戸地区支部

平成29年度第1回役員幹事会を開催

水戸地区支部(支部長 西村寛氏 (株)水戸京成百貨店代表取締役会長)は、7月26日(水)当協会会議室において、平成29年度第1回役員幹事会(幹事長 栗島国夫氏 (株)ニコン水戸製作所長)を開催した。

西村支部長の挨拶後、栗島幹事長の進行のもと、報告・協議事項へと移った。報告事項では、平成29年度定時総会および70周年記念式典の報告、また70周年記念事業などについ

て報告。協議事項では、支部会員相互の交流を深める“支部総会”や、地域経済を支える企業と行政との相互理解の促進を図る“行政懇談会”

などについて協議し、出席者より参加者目線からの様々な意見がだされ、講師選定や開催内容などについて確認をした。



また、本年度より新たな支部幹事として、(株)イサカホーム代表取締役社長 井坂一二氏が就任した。

土浦・石岡・つくば地区支部

人事労務研究会世話人会を開催

土浦・石岡・つくば地区支部(支部長 田淵道文氏 日立建機(株)執行役専務開発・生産統括本部長)の人事労務研究会(代表世話人 塚崎俊一氏 関東情報サービス(株)代表取締役社長)は8月23日(水)、土浦市内において世話人会を開催した。

世話人会では、29年度人事労務研究会活動計画について協

議が行われた。協議の結果、以下のような計画で10月26日(木)に予定されている総会に諮ることとなった。

第1回例会(総会)、10月26日(木)、ホテルマロウド筑波、テーマ「非正規社員を巡る法律実務について～有期契約労働者の2018年問題への対応～」、講師 みとみらい法律事務所弁

護士 安隆之氏。

第2回例会、平成30年3月、テーマ「“イマドキ”の新入社員、若手社員の育成と法律実務をめぐる諸問題」。

特別例会、テーマ「採用力強化研修」、全3回開催予定、講師 (株)キーカンパニー 代表取締役 下園博康氏。

取手・龍ヶ崎地区支部

平成29年度第1回役員幹事会およびカガミクリスタルの見学会を開催

取手・龍ヶ崎地区支部(支部長 九鬼理宏氏 キリンビール(株)取手工場長)は、7月27日(木)、カガミクリスタル(株)において、平成29年度第1回役員幹事会(幹事長 中島健輔氏 日本メクトロン(株)人事部長)を開催した。

はじめに、九鬼支部長および澤畑専務理事が挨拶後、中島幹事長の進行のもと、主に本年度の支部活動計画(案)について協議検討した。

本年度の支部活動計画では、各界で成功された著名な方から自身が取組まれてきたプロフェッショナルの考えや経験

談・体験談などに触れる講演会や、県内企業の働き方改革の取組みなどを学ぶ事業を実施していくことを確認した。

役員幹事終了後には、当協会70周年記念事業の一つである「企業人が選ぶ いばらきの見学スポット(産業編)」に選定された“カガミクリスタル(株)”の生産現場等を見学し、同社代表取

締役社長 望月英俊氏の同行のもと、クリスタルガラスの成形工程や切子・グラヴィール彫刻などの高技術工程を案内いただいた。

見学終了後には、懇親会を併設し役員幹事会社から自社・業界・地域の状況等について情報交換を行い、散会した。



新入会員紹介

稲葉工業 株式会社

■代表取締役 稲葉 健太郎



Data 所在地／つくば市館野576
T E L／029-836-1662
業 種／水処理エンジニアリング
従業員／9名

Appeal point

弊社は水処理エンジニアリングという合成語を掲げ、ただ単に物を売るという企業ではなく、ひたすら技術力を高め、その技術で社会に貢献していくというコンセプトの下で事業を行っていく会社と考えております。

株式会社 大縄林業

■代表取締役 大縄 守



Data 所在地／水戸市杉崎町1753-4
T E L／029-259-2135
業 種／製材業・住宅建設業
従業員／35名

Appeal point

当社は、昭和48年に旧内原町（現水戸市）に設立された住宅建設業者です。創業時から蓄えた木材に関する技術やノウハウと当社グループと連携した独自の仕入れルートにより、高品質かつ高耐久の木材住宅を低価格で提供しています。また、全国展開するイシホーム住宅研究会のフランチャイズ店として太陽光発電パネル付き住宅をいち早く手掛けてきました。今後もお客様に愛され、地域社会に貢献できる企業を目指してまいります。

片岡法律事務所・片岡税理士事務所

■代表弁護士兼税理士 片岡 優



Data 所在地／日立市弁天町
1丁目3-16
T E L／0294-33-6622
業 種／弁護士事務所・税理士事務所
従業員／弁護士兼税理士1名
弁護士1名
従業員10名

Appeal point

【今より一步明るい未来】をキャッチフレーズに、企業の問題解決や問題発生防止に法律顧問として企業側に立った労務問題・債権回収・契約書作成支援などに取り組んでおります。

さらに、役員の相続対策・事業継承対策なども含めて法律と税務の総合的なサービスを提供できる事務所でもあります。

「依頼して良かったと思える事務所」作りをし、圧倒的に地域の皆様の支持を得られる事務所になるべく、日々精進しております。

株式会社 システムクラフト

■代表取締役 吉野 泰造



Data
所在地／日立市大みか町
4-30-28
大みか第2東住ビル2F
T E L／0294-53-1771
業 種／情報サービス業
(ソフトウェア開発)
従業員／11名

Appeal point

弊社は1987年7月創業以来、一貫して制御用システム開発に携わって参りました。特に電力管理自動化システム、交通運行管理システム、ダム管理システムなどの日常生活では意識する事は無いが安心して暮らしていくために必要な、社会インフラシステムの開発を主体としております。

特に通信関連ソフトウェア開発は創業時より得意にしていますが、最近では各種シミュレータシステム、HEMSなど新分野への開発にも取り組んでいます。

これからも地域、社会へ貢献するという理念のもと、高品質、高信頼性の製品を作り続けてまいります。

株式会社 ジェイピー 関東

■代表取締役 田中 永紀



Data
所在地／高萩市上手綱
1357番地12
T E L／0293-23-5401
業 種／鉄・非鉄スクラップ
加工業
従業員／10名

Appeal point

弊社は1993年に設立し、近隣の企業様から排出される鉄・非鉄スクラップの買取り、加工、販売を生業としています。また、「誠実・公正」を旨とした行動をとることを第一とした、少人数でも活力のある会社です。

6

株式会社 ティーガイア 営業第一本部

■営業第一本部長 武田 敏和



Data
所在地／東京都渋谷区恵比寿
4-1-18
T E L／03-6409-4459
業 種／情報・通信
従業員／3,466名
(茨城122名)

Appeal point

ティーガイアは、通信事業者の一次代理店として、スマートフォンなどの携帯電話販売および企業向け通信ソリューションの提供、海外を含む決済サービス、その他新規事業を展開する住友商事グループ・東証一部上場の企業です。茨城県内の事業としては、ドコモショップ9店舗、auショップ1店舗を運営しています。弊社が大切にしているのは、お客様とのつながりであるコミュニケーションです。質の高い、丁寧なサービスで地域の皆様に貢献しています。

株式会社 フジキン つくば先端事業所

■取締役 工場長 深田 収



Data 所在地／つくば市御幸が丘
18番地
TEL／029-856-3301
業 種／製造機械器具
従業員／1,430名
(つくば先端事業所のみ)

Appeal point

株式会社フジキンは、特殊バルブ機器類を中心に、半導体製造装置用やロケット用などの超精密ながれ（流体）制御システムを開発・製造・販売している会社です。

ライフサイエンス事業にも取り組み、国内初のチョウザメ人工孵化に成功致しました。

本協会に入会させて頂き、地域企業と共に茨城県の活性化に努めて参ります。

株式会社 ONE TO FREE

■代表取締役 小林 竜也



Data 所在地／日立市本宮町2-9-12
TEL／0294-33-8181
業 種／不動産業
従業員／6名

Appeal point

平成27年に不動産・金融・相続・税金これらの問題をワンストップで自社で対応できる不動産会社として日立市に設立いたしました。これから発生する多くの相続。今後ますます人口の減少が予想される日立市。それに伴い空き家問題は他人事ではなくなる時代になります。今までの家づくりをする方々との多くのご縁、相続問題でどのように資産を残していったらいいか悩んでいた土地の所有者さんとのご縁。これらをどうまとめていくのか。それが弊社の使命です。たくさんの家族の笑顔をつくるため、日立市が直面する不動産問題に真向勝負していきます。

「長時間労働につながる商慣行の是正に向けた共同宣言」 へ賛同

日本経済団体連合会(経団連)より7月18日に加盟の地方別・業種別団体に対し、経団連の「働き方改革への取り組み」の一環として標記共同宣言への賛同の依頼があった。当協会では、7月27日に開催した政策委員会(構成:正副会長、各支部長・委員長、専務理事)において「当協会としても賛同し、会員企業に呼びかける」こととなった。

下記の共同宣言は、9月に経団連ホームページ上に賛同団体を付記して公表される予定。

長時間労働につながる 商慣行の是正に向けた共同宣言

労働力人口が減少していく中、わが国企業が持続的に成長していくためには、非効率な働き方を改め、競争力の源泉である人材の確保・定着を図りつつ、生産性を大きく向上させていくことが不可欠です。

昨今、働き方改革への関心が高まり、経営トップ自らが強いリーダーシップを発揮し、長時間労働を前提とした企業風土や職場慣行を見直す企業が増えています。今後、これをさらに深化させるためには、一企業だけでは解決することが困難な商慣行の見直しを強力に推進していくことが求められます。

われわれ経済界は、消費者や取引先の理解を得ながら、下記の取組みを推進し、長時間労働につながる商慣行の是正、ひいては、サプライチェーンに係わる誰もが働きやすい職場環境を整備し、持続可能な経済社会の実現に貢献していくことを宣言します。

1. 関係法令・ルールの遵守に加え、取引先が労働基準関連法令に違反しないよう、配慮する。
2. 発注内容が曖昧な契約を結ばないよう、契約条件(発注業務・納期・価格等)の明示を徹底する。
3. 契約時の適正な納期の設定に加え、仕様変更・追加発注を行った場合の納期の見直しなどに適切に対応する。
4. 取引先の休日労働や深夜労働につながる納品など、不要不急に時間・曜日指定による発注は控える。
5. 取引先の営業時間外の打合せや電話は極力控える。
6. 短納期・追加発注・高品質など、サービスの価値に見合う適正な価格で契約・取引をする。

いばらきの理解を深める9支部めぐり (第6回)

葛田 一雄

私は四半世紀ほど前に茨城県経営者協会に関わらせていただいた。現在の事務局長加藤祐一氏の企画による研修講師などを担当した。その後、会員企業の経営者との出会いが多々あり、多くの方を通して啓示を受けた。

1. 水戸地区支部支部長企業

水戸地区支部支部長は、(株)水戸京成百貨店代表取締役会長西村寛氏である。同百貨店の包装紙「森の包み紙」は、文化勲章受章者、芸術院会員の東山魁夷画伯の作品「樹映」が原型であり、画伯自身がデザインを監修した。

(1)水戸のシンボル企業

同百貨店の創業地は、常陸太田市中城町、明治41年のことである。株式会社志満津百貨店として太田店、水戸店で営業開始し、その後、京成電鉄株式会社と資本提携した。本店を水戸市に移転し、商号を株式会社京成志満津に変更した。株式会社水戸京成百貨店に経営承継、京成電鉄株式会社の連結子会社となる。平成20年3月に創業百周年を迎えた水戸市が誇る名門企業である。

(2)理念と指針

理念及び指針を確認しておきたい。理念は存在意義及び社会的使命の表明であり、指針とは活動の道標、社会規範に沿った責任ある行動を展開する方針である。そこで、水戸京成百貨店の企業理念である。

【「新しい生活文化の創造」と「情報産業として地域の生活文化向上に貢献してゆく」を企業理念とし、地域密着型で顧客第一主義の「いつまでも親しまれ愛される知的百貨店」を目指します。】

企業行動指針は5つあり、知識や知性豊かな百貨店としてのミッションステートメントである。

- ①私たちは、お客様の立場で考え、行動します。
- ②私たちは、お互いを認め合い、協力します。
- ③私たちは、公正な企業倫理を重んじ、社会の一員として行動します。
- ④私たちは、自らの責任で主体的に行動します。
- ⑤私たちは、創造と革新に挑戦します。

(3)グループとしての理念

同百貨店は、京成グループの中核企業である。京成グループの経営理念及び行動指針を確認しておきたい。

【京成グループは、お客さまに喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。】

行動指針は以下のとおりである。

- (安全) …私たちは、安全・安心を第一に行動します。
- (接客) …私たちは、あいさつを励行し、お客様の立場にたって行動します。
- (成長) …私たちは、絶えず自己革新し、新たな価値を創造します。
- (企業倫理) …私たちは、すべての人を大切にし、法令・規則を遵守します。
- (環境) …私たちは、自然環境に配慮し、行動します。

(4)支部長企業としての矜持

水戸京成百貨店及び京成グループ理念及び行動指針には凛とした矜持を感じる。ガバナンス、ブランディング、コンプライアンス、地域貢献そして環境調和など経営者協会の存在意義と符合するものがある。企業は人なり、経営の本質に触れることができるし、人づくりの源流としての水府学を思い起こす。

水府学、後の水戸学は、水戸藩で培われた国学、史学、神道を基幹とする。愛民、敬天愛人などで知られている。愛民とは民を愛しみ恵むことである。敬天愛人は、西郷隆盛が好んで使用した四字熟語であり、意義は、「天を敬い人を愛し、天を知り、己を尽くし、人を咎めず、我が誠の足らざるを尋ねるべし」である。

(5)業種としての基準

現物、現金、掛け値なし、これは三井越後屋、三越である。訪販、見本品、掛け売り、こちらは飯田屋、高島屋である。百貨店は「衣・食・住の商品群の販売額がいずれも10%以上70%未満の範囲内にあると同時に、従業員が常時50人以上おり、かつ売り場面積の50%以上において対面販売を行う業態」(経済産業省商業統計調査)である。

水戸京成百貨店は、志満津百貨店のマインドを引き継ぎ、物を売るだけではない知的百貨店としてのリーディングカンパニーである。

2. 水戸支部会員企業の紹介

複数の会員企業を紙面に紹介したいのはやまやまであるが、(株)三上建築事務所に焦点をあてたい。先代所長三上清一氏には想像と創造の違いあるいはデザインに関する技術的知見などの学びを得たし、地域に生き、地元貢献する価値について触発されたからである。

現在、同社の代表取締役所長は益子一彦氏である。同氏は、大子町で生まれ、郷土愛豊かな生粋の茨城県人である。三上建築事務所に入社し、2005年に代表取締役所長に就任した。建築事務所の経営者として活動しつつ、若手技術者の育成にも心血を注ぎ、茨城大学大学院理工学研究科で講師を務める。

(1)容を求め続ける

同事務所は、建築家益子一彦を中心として建築家と技術者で組織する専門家集団であり、水戸、茨城、関東、日本全土さらには中国を手始めとして世界へと事業展開をしている。

同社の理念及び基本方針を確認しておきたい。

【私たちの役割は、「建築の設計実務を通して、社会に有益な価値を提供する」ことにあります。建築主の夢を実現し、社会環境の向上と文化の発展に寄与することが、私たちの使命だと考えています。常に建築の専門家として自己研鑽に励み、素養を磨き、技術と教養を高め、品格と誠意をもって、使命を遂行します。私たちが提供する業務は、建築の設計実務です。その根幹は、「建築主がもつ課題を、建築を通して解決すること」です。建築という解答は、課題を的確に把握し、解答を導き出す論理的なプロセスを辿り、合理的かつ美意識を備えたものでなければなりません。“顧客のための課題解決”を“美意識を備えた合理的な解決法”で実現し、“質の高い成果品”として表現する。それが、建築に向き合う私たちの基本方針です。】

(2)行動指針

8つの行動指針があるが、4つを提示する。

- ①普遍性…原理原則を踏まえてものごとを組み立てます。
- ②論理性…恣意的でなく、論理的に説明可能な解答を見出します。
- ③単純性…何も足す必要がなく、何も引く必要のない、純度の高い状態を追求します。
- ④規則性…明確なルールを設定し、全体から細部にいたる整合性を重視します。

理念、方針、指針には連関性がある。先代三上清一氏から薫陶を受けた益子一彦氏の建築家としての行動規範、「あるべき姿やありたい美しい容」を追求するための気品や知性をステートメントにしたものではなかろうか。

(3)地域貢献の成果が受賞歴

同社の受賞歴は輝かしい。地域貢献ゆえの成果である。その一端をあげたい。大洗町立南中学校は、優良教育施設文部科学大臣奨励賞、日本建築士事務所協会連合会賞優秀賞、茨城建築文化賞最優秀賞を受賞した。

三上建築事務所は、経営姿勢、実績、地域貢献成果などからみて建築設計の典型企業であり、茨城県経営者協会傘下の優良企業である。

3. 会員企業経営者の経営実践

私は、茨城経営者協会の活動を通じて、水戸市所在の多くの経営の経営思想に触れた。集約すると、企業存続のためには利益確保が重要であり、そのためになすべきことは3Cである。

(1)3Cの実践

まずは、Complianceである。企業を健全に運営する仕組みのことであり、法令遵守と商道徳(倫理実践)を逸脱した利益確保では企業の存続は危うい。2つ目は、CSRである。社会的貢献であるが、環境との調和、品質やサービスの向上、人間尊重である。そして、3つ目は、Commitmentであり、顧客、地域、企業間、労使間の関わり合いとしての言質(約束の言葉)である。本業を通じて関わり合いをもつ、例えば、地域社会との間にWIN-WINの関係を築くことである。

(2)リターンを期待した投資

3Cの実践は企業にとって「事業投資」であり、リターンを期待するのは当然である。善行をひけらかさないことが経営者の美德とされていた時代もあったが、3Cの実践はそうではない。企業イメージを向上させることあるいは顧客や地域社会の支持が増えることは卑しいことではない。立派な行いをしたときには開示する。これは経営者の使命である。その反面、不祥事があつたら隠さず明らかにする責務がある。

(3)理念、利潤、幸福の追求

理念は経営者が描く夢である。経営者に対する5つの問いかけを今回の締めとしたい。①夢を語り合える企業風土ですか。②利潤を追求するために発想を転換することができますか。③自ら方針や目標を設定し挑戦していますか。④地域社会とWIN-WINを形成するために情熱を燃やしていますか。⑤本音でもの言える企業風土ですか。

避難所運営ゲームHUGを やってみませんか

茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋

最近県内各地の学校や公民館で行われる機会が増えている防災教育プログラムにHinango Unei Game（略してHUG＝ハグ）というものがあります。地震や津波など災害への意識が高い静岡県で開発されたカード式シュミレーションゲームです。内容は、5人くらいのグループが避難所の運営責任者になったという前提で、次々に来る多様な避難者をどこに誘導するか、支援物資の受け入れなど災害対策本部からの指示や、ボランティアなど様々な訪問者への対応をどうするか、短時間で話し合い、カードを処理していきます。高齢者、具合の悪い人、乳幼児や障害のある子がいる家族が来た時にどの部屋で個別対応するか、ペットを連れてきた人はどうするか、車椅子を使う人が来た時、どう工夫するか、なども考えますが、正解はありません。大事なことは、多様な人の存在や何がバリアになっているかに気づき、どう配慮するか考え、工夫することです。

常総市のある中学校では約300名の全校生徒が5人ずつ60チームに分かれて9月1日にこのゲームを行いました。これまでは校庭に避難するくらいの防災訓練でしたから、2年前の災害を経てかなり意識が変わりま

した。このゲームをすると、停電、断水に備え何を保管備蓄しておくといいか、車いすの人を受け入れるために最低用意すべきもの（簡易スロープとか和式トイレを洋式にするもの、など）に気づき、物を揃えたり、受付、物資受け入れと提供、トイレ、情報、見守り、など避難所運営時に必要な役割が見えてきます。学校や職場であれば、実際に物を揃えたり避難所マニュアルを作るのに役立ちます。

学校などの避難所は自治体が開設することとされていますが、その準備状況にはかなりの差があり、残念ながら常総市は水害から2年経っても未だにマニュアルがなく、このままではまた開設されず逃げ遅れることになりかねません。そこで自治会と学校とNPOで連携して避難所の体制づくりをしています。

企業の施設が臨時の避難所になることもありえます。公共交通が止まったり、自宅の電気と水がとまる事態になれば、すべての人が避難所に行く可能性があります。その時に、HUGを経験した人であれば、避難している場の混乱を少しでも和らげ、助け合ってその場を運営できるでしょう。避難所は行政とか管理者が運営するもの、と考えていると受け身になります。

実際に災害が起こると、よほど準備や訓練をしていない限り、広間が開放されるくらいのことにはしかならず、おにぎり1個、毛布1枚の配給も望めず色々なことで我慢することになるし、高齢者、乳幼児、障害者、ペットがいる世帯には居場所はないに等しいでしょう。けれども、避難所とは皆で運営するものと考え訓練をしておけば、かなり環境は改善でき、自分や家族も助かります。HUGは障害者への合理的配慮やバリアフリーを考える研修やチームビルディングの訓練にも取り入れられます。そのように、いざという時に周りの人を助けられる人、行動できる人を学校や企業で育てておくことと、避難スペースを増やすことが本当の減災だと思います。人を受け入れられる部屋を持っている事業所が、水害時に2階、3階の部屋で一時的にでも周辺の住民が逃げられるように受け入れるとか、公共交通が止まり帰宅困難になった人に休むスペースを提供できればすごい社会貢献になります。コモンズはこのような地域防災や減災のための研修を行います。HUGの研修を取り入れたい場合、キットもありスタッフも派遣できますのでご相談ください。

セミナー・事業等のご案内

＝詳細は、事務局までお問合せください＝

セミナー名	日 時	テーマ・内容	講 師	会 場
環境先進企業 見学会	10月6日(金) 2,000～3,000円 /人	いわき大王製紙(株) (株)クレハ環境		いわき市方面
講演会	10月18日(水) 15:40～17:00 無料	いばらきの食と魅力 ～地域の魅力溢れる食文化を見直し、 地域の活性化へ～	藤原 浩氏 食文化研究家、いばらき大使、いばらき食のアドバイザー	水戸京成ホテル
経協塾	①12月8日(金) 12月15日(金) ②11月7日(水) 11月22日(水) ③10月25日(水) 11月8日(水) ④10月24日(火) 11月20日(月) ⑤11月16日(水) 12月5日(火) 11:00～13:30 2回受講 7,000円	①「働き方改革」 ②③「IoT&AI」 ④⑤「人材育成」	①茨城大学人文社会科学部教授 清山 玲氏 ②NTTコミュニケーションズ技術開発部 境野 哲氏 ③茨城大学工学部教授 鈴木智也氏 ④トヨタ元生産調査部部长 田中正知氏 ⑤松下政経塾研修局長 金子一也氏	①経営者協会会議室 (水戸市) ②カスミ本社会議室 (つくば市) ③常陽銀行鹿島支店会議室 (鹿嶋市) ④大みかクラブ会議室 (日立市) ⑤NC東日本コンクリート工業会議室 (筑西市)
第7回 ヒューマンエラー 防止セミナー	10月27日(金) 9:30～17:00 6,000円	交通心理学や産業行動学を活用し、重大事故を防ぐポイント 1. ヒューマンエラーに関する講義 : 2時間 2. 産業行動学を活用した労働災害防止 (演習) : 2.5時間 3. 交通心理学を活用した交通事故防止 (演習) : 2時間	中村隆宏氏 関西大学社会安全学部 社会安全研究科教授	水戸 プラザホテル

【お問合せ先】

一般社団法人 茨城県経営者協会

〒310-0801 水戸市桜川 2 丁目 2 番35号 茨城県産業会館11階

TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109

ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール info@ikk.or.jp



心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

ESQUIRE

エスクァイア



茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851

TEL 0120-090110

<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



**ちょっと
ヨリミチ**

きょうも誰かと出会えるから
 きょうも楽しいイベントがあるから
 きょうも新しい発見があるから

いつでもそばにある
カスミです



株式会社 カスミ

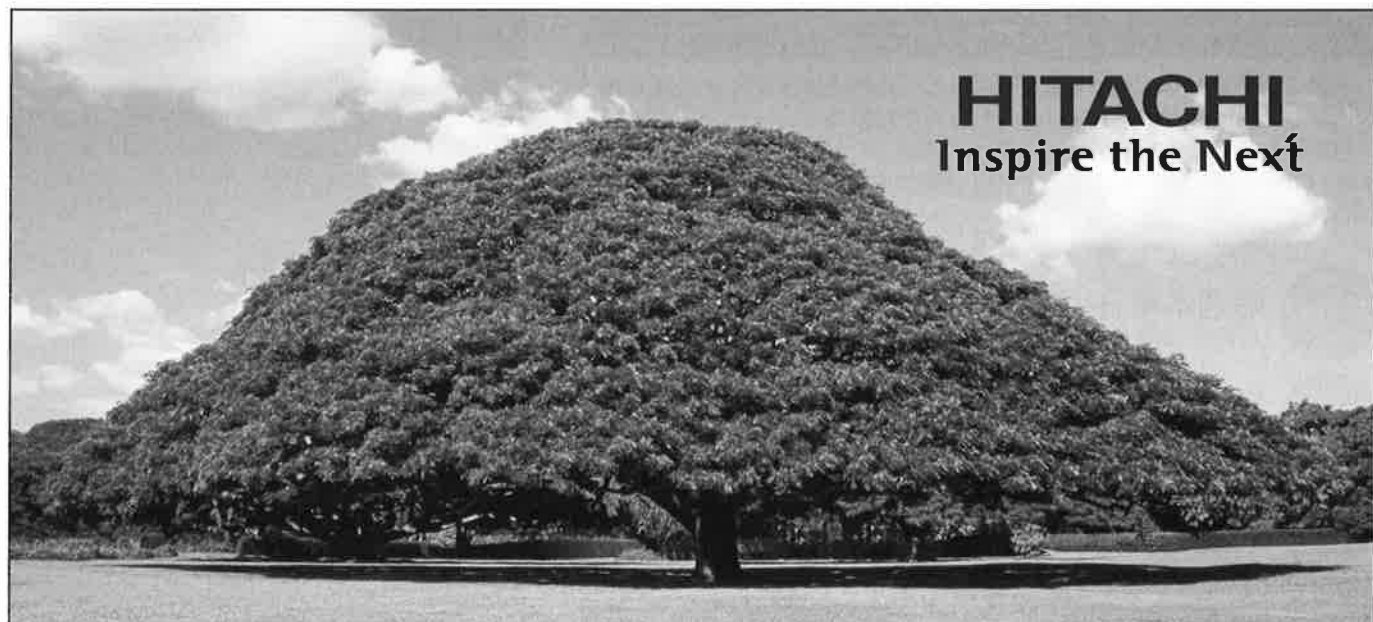
〒305-8510 茨城県つくば市西大橋 599-1 TEL.029-850-1850
<http://www.kasumi.co.jp/>

KASUMI

 カスミ公式フェイスブックページ
<http://www.facebook.com/kasumi.fanpage>



HITACHI
Inspire the Next



次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

時代はいま、新しい息吹を求めて、大きく動きはじめています。

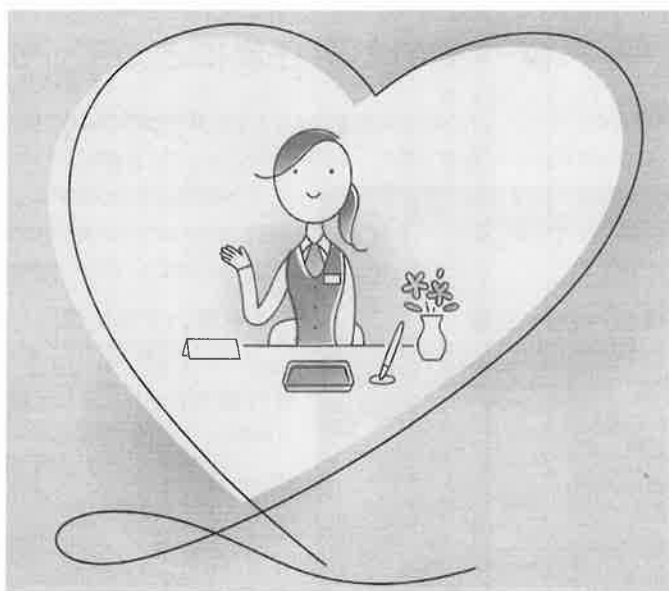
今日を生きる人々がいつも元気でいられるように、明日を生きる人々がいつもいきいきとしていられるように。

日立グループは、人に、社会に、次の時代に新しい風を吹き込み、豊かな暮らしとよりよい社会の実現をめざします。

日立の樹オンライン www.hitachinoki.net

株式会社 日立製作所 日立金属株式会社 日立化成株式会社 日立建機株式会社
株式会社 日立ハイテクノロジーズ 日立アプライアンス株式会社 日立オートモティブシステムズ株式会社

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

 **常陽銀行**


MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

開催日 毎週木曜日 ①10:00~12:00
(祝日は除く) ②14:00~16:00

会場 経営者協会・相談室
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

申込方法 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

Flow chart

賃金関係 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか?

労働組合 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか?

助成金制度 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか? 活用できる助成金制度について教えて欲しい。

人事労務 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。

精神疾病 メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか?

その他 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関する課題全般の悩みについて。

人事労務相談室
が総合窓口
(ワンストップ)

課題解決に最適な専門家をご紹介します

協会・顧問弁護士
清水謙弁護士
大和田一雄弁護士

社会保険労務士

税理士

経営
コンサルタント

その他
各専門家

お問い合わせ: 一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)
TEL: 029-221-5301 FAX: 029-224-1109
E-mail: gotou@ikk.or.jp